

第 217 回地質調査所研究発表会講演要旨*

特集 21 世紀エネルギー：地熱

わが国に豊富に賦存する地熱エネルギーの有効利用は着実に進められてきているが、その努力が真に開花するのは来世紀に入ってからのことになるだろう。

地質調査所は早くからわが国の地熱資源に注目し、「サンシャイン計画」のもとで賦存状況を明らかにするための手法・探査技術開発に取り組んできた。

ここでは、これまでの取り組みによって得られた結果をもとに、将来のエネルギー源として地熱を考える。講演内容は地質ニュース（1992 年 8・9 月号, no. 456・457 号）に掲載されているので、プログラムを紹介する。

21世紀の資源・環境と地熱エネルギー

小川克郎

今世紀の著しい技術発展は化石エネルギー資源の大量使用によって支えられてきた。資源・環境面で多くの課題を抱えるわれわれにとって、地熱エネルギーの果たし得る役割を正しく理解し、その有効利用を図る努力は重要であろう。
(地質調査所長)

地熱エネルギー開発利用への取り組み

長谷紘和

地熱エネルギーを再生可能資源としてとらえ、有効利用を図るために今後なすべき事は何か。その目標への鍵を握る本源的な熱供給構造の理解に向けて取り組みつつある当初の研究プロジェクトについて紹介する。
(地殻熱部長)

火山の恵み—その地熱との関わり

荒牧重雄

火山の構造及びマグマの性質による火山活動の様式と、それに伴う地熱資源の性格を内外の火山を事例にして述べる。また、地熱資源を開発する上で留意すべき事柄、特に火山災害などについて述べる。
(北海道大学理学部)

熱水系の深部環境を地球化学データから予測する

茂野 博

深部地熱資源の地球化学的探査・評価手法を総括し、これに基づく概念的モデル化を通じてわが国の火山性高温熱水系深部環境の多様性と近未来の開発有望性を議論する。
(北海道支所)

地熱調査における物理探査の現状と展望

川村政和

地熱資源の探査・開発において、これまで利用されている物理探査法の現状をまとめると共に、今後の地熱探査について展望する。
(地殻熱部)

地球環境と地熱資源量評価

宮崎芳徳

地球環境の立場からみた地熱開発とその資源量について言及する。また、地熱資源量の評価手法をレビューし、わが国の地熱資源量を評価、そのポテンシャルを探る。
(国際協力室)

米国グレートベイズン地域の地熱資源

陶山淳治

上記の地域における地熱資源について、物資収支の観点からみた最近の研究成果を中心に紹介する。
(ネバダ大学客員教授)

*平成 4 年 6 月 12 日 東京、石垣記念ホールにおいて開催
主催 工業技術院地質調査所、(財)日本産業技術振興協会